

# めぐみ厚生センター センターだより

第 317 号  
発行 2010年5月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人  
めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一  
事務局 0952(25)2797  
印刷所 (株)古川総合印刷

桜の花が散り、初夏の日和を感じる季節を迎える度にふと昨日のこのように思い出すことがあります。

それは二〇〇五年四月に起きた、JR福知山線脱線事故のことです。当時の私は長年過ごした佐賀を離れ京都での新たな生活を迎えていました。そんな矢先に起きた事故でした。事故車両は大阪府・宝塚駅発の列車であり、多くの学生がその列車に乗って大学に通学しています。事故が起きたのは午前九時過ぎ、朝の講義中に教職員から脱線事故の連絡が入り、そこで列車の脱線の事実が伝えられ、現場の悲惨な状況が目に浮かぶようでした。

当時住んでいた下宿先の寮にはTVが二台しかなく、帰宅した寮生たちはTVを囲み、固唾を飲んで事故のニュースを見守っていました。「もしかしら電車の中に友人が乗っているかもしれない」そう思うとなかなか眠れず、皆夜中までニュースの速報が入るのを待っていたことを覚えています。

後に、乗客・運転士を含め一〇七名の死者、そして五〇〇名以上の怪我人が出ている事実を知り、乗車の可能性が疑われていた声楽科の先輩は、事故車両の二両目に乗車しており、翌日亡くなられたことを聞きました。

その日、声楽科の学生は大学でオペラ「フィガロの結婚」の練習があり、先輩も練習に向かうために電車に乗っていたそうです。私はその事実を知り言葉を失いました。後日、先輩の追悼礼拝・追悼演奏会が行われ、出演予定だった「フィガロの結婚」を声楽科の学生全員とオー



## 「忘れてはならないこと」

フルート奏者 柴田 紗希

ケストラと共に演奏し、合唱「送別の歌」、そして先輩が出演している映像も流されました。その素晴らしい歌声に、皆涙が止まりませんでした。追悼礼拝には先輩のご家族の姿があり、今まで成長を見守ってこられたご両親の気持ちや胸が痛くなりました。事故で亡くなった方々は、いつもと同じ日常を過ごし、それが明日へとつながることを信じておられたと思います。かけがえない人々の命を奪った脱線事故という悲劇は二度と繰り返してはなりません。あれから五年が過ぎ、十八歳だった私も当時の先輩と同じ二十三歳になりました。大学を卒業し、現在は佐賀を拠点に福岡・長崎で演奏活動を行っています。めぐみ園・富士学園での演奏のお話を頂いたのが今年の二月頃、元めぐみ厚生センター理事、そして『こだわりの店井徳屋』の店主である若林興三さんとの出会いがきっかけでした。

三月十二日に富士学園にお伺いし、利用者の皆さんに楽しんで頂けるのかという心配を抱えていましたが温かい雰囲気でもて迎えて頂き、ご存じの曲があれば口ずさまれる方もおられ、楽しい貴重な時間を過ごすことができました。その後「センター便り」の執筆のお話を頂き、私に書けるのか不安でしたが、毎年この季節になるとふと思い出出す脱線事故のことを一人でも多くの方々に「忘れてはならないこと」として執筆させて頂きました。今日、演奏の場、執筆の機会を頂いたことは、ひとえに演奏を聴いて頂いていた利用者の皆さん、職員の方々に、若林さんのお力添えと心から感謝しております。本当に

ありがとうございました。

音楽を通して目に見えて人の心に届けることには限りがあるのかもしれませんが、音楽は時間と共有できる芸術だからこそ懐かしい気持ちや楽しかった時間、時にはその季節や匂いまでもが記憶と共に蘇ることが出来ます。そんな場をもっと増やしたく『クラシックをもっと身近な存在に』という思いで、二〇〇二年に結成された女性によるアンサンブルグループ、グレース・ノーツに今年の春からメンバーとして迎えて頂き、フルート、クラリネット、ピアノ、声楽のメンバーで、日頃、後進の指導と演奏活動を通じて音楽家としての研鑽を積んでいます。

毎年、佐賀県立美術館ホールにて定期演奏会を開催の他、これまでにチャリティコンサートや各種イベントにも出演しています。Grace No.9(グレース・ノーツ)は『装飾音』という音楽用語で『個々の音楽性の域を超えた色彩豊かなハーモニーを奏でたい』というメンバーの願いが込められています。今年の平成二十二年九月二十五日(土)十九時より佐賀県立美術館ホールにて第八回目のグレース・ノーツコンサートを迎える予定です。先日も佐賀県歴史民俗資料館(旧古賀銀行内)にある浪漫座でスプリングコンサートを行い、カルメンファンタジー、ルパン三世、そしてショパンの幻想即興曲などを演奏しました。子供から大人まで、そして日頃音楽に触れることのない方々や障害をかかえる皆さんに音楽に触れて楽しんで頂き、積極的に外出するきっかけとなれたら嬉しく思います。どのような音楽がお好きなのか、また思い出の曲など沢山聞かせて頂けることを今後楽しみにしています。

最後となりましたが「人間は自分で生きていくのではなく、生かされている」というある作家の言葉があります。脱線事故が身近で起こったからこそ考えさせられた言葉です。何気なく過ぎていく毎日ですが、生かされる時間にはそれぞれ限りがあります。この貴重な時間を一杯生かす、感謝の気持ちを忘れずに私にできる役割を果たしていければと思っています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

クッションマットと個別ルームを配しました。



「はっぴい」な時間を過してもらいたいと思っています。

- 活動日：週三日（月・水・木曜日）  
（祝日・夏・冬季休暇を除く）
- 利用時間：十四時～十七時
- 定員：十名（現在契約者十九名）

新規事業の紹介

めぐみ園

四月一日付で児童サービス「はっぴい」を開設しました。

日新校区昼食会招待

三月十六日、日新校区昼食会に招待を受け、利用者六名と職員二名で参加をさせて頂きました。

会場では、あたたかく出迎えを受け、昼食会に又踊りの披露に楽しいひとときを過ごす事が出来、本当に有難うございました。



季節に合ったメニューで美味しく頂きました



♪息の合った動きで踊りを披露!!♪



野点

四月に入り、花冷えの日は続いていましたが、四月六日、春を通りすぎ、夏の暑さを感じるほどの陽気の中、めぐみ園運動場の桜の木の下で野点を行いました。

桜の花びらが並べたお菓子や、点てたお茶の中に散ってきたりと、風情を感じながらのひとときとなりました。



上手くできたかな…



結構なお手前です

サッカー観戦

四月二十九日、利用者八名と職員二名で、ベストアメニスタジアムでサッカー観戦に行きました。

十三時キックオフで、『ロアッソ熊本』との対戦でした。

前半は一進一退の攻防が続くも得点ならず、後半開始早々に得点を許しロアッソ熊本ペースで試合が進みました。

しかし、ロアッソ熊本の選手がレットドカードで退場となり、徐々にサガン鳥栖ペースで試合が動き出し、ようやく後半ロスタイムで同点ゴールを決めました、そのまま試合終了。

利用者の皆さんは、勝ち試合でなかったのは残念がっていましたが、リリーガの白熱した試合を見ることができて喜んでいました。

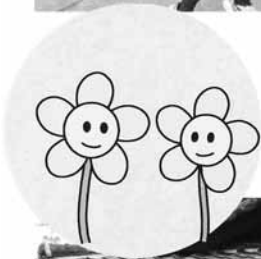


「後半、ロスタイム」





緊張のスタート、感動のゴール!!沿道からの声援を受けて、3kmコースをさわやかに駆け抜けました!!  
ゴールの後は温泉でリフレッシュ!



4月12日 富士町健康マラソン  
富士学園&ウイズ富士  
～みんなで完走できました!～



# 富士学園

春の出会い  
利用者は新人スタッフを救う

四月は学校や職場、地域等で新しい出会いがあります。少し不安に感じながら、でも予想もしていなかった出会いでもとても幸せな気持ちになれることもあるはず…。

ある日。とある病院ではいつにも増して慌しい様子。そんな中、新しいスタッフの方が仕事を覚えようと一生懸命メモを取りながら私達の前を何度も往復しています。

受診していた利用者の方は普段と変わらず病院内の様々な案内表示等のメモをとり待っています。

いざ順番が来てその新しいスタッフから処置を受けると顔を覗き込みながら「初めて?よろしく!」とご挨拶。すると緊張していたそのスタッフさんは「ありがとうございます。声を掛けてもらって大変助かりました。今日が(仕事)初めてでいっぱい입니다。」と返され、利用者の方に握手を求められたのです。

目の当たりにした私はとても温かい気持ちになり、何気ない一言が、周りの方の心をほぐしてくれることがあるのだなあと痛感した出来事でした。

# ウイズ富士

サッカー観戦(希望通所)



四月二十九日(昭和の日)の希望通所で、マイクロバスとハイエースの二台にわかれて、鳥栖方面へ行きました。最初にベストアメニティストアムにて、サガン鳥栖vsロアッソ熊本の熱戦を観戦。「頑張れー」と大声を出して興奮されている姿も見られました。



試合終了後は鳥栖市内にて昼食、買い物を楽しみました。五月の希望通所では福岡ドームでの野球観戦が予定されています。利用者の皆様は今から楽しみにしておられます。

# ふれあい

## めぐみ園

### 日本財団助成事業

日本財団から、平成二十一年度助成金を受けて、福祉車輛を購入しました。ドライブ・外出に活躍中です。



名称は「キャラバン」にしました。

### 聖句

わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。だから、あらゆる汚れやあふれるほどの悪を素直に捨て去り、心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい。この御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。

(ヤコブの手紙 一章十九〜二十節)

### ★新任職員

めぐみ園



生活支援員

前田 陽子

抱負：初心を忘れず、これからも一生懸命頑張ります。



富士学園

生活支援員

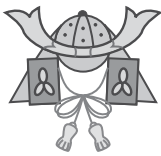
轟木 晋太郎

抱負：チーム一丸となり、失敗を恐れず利用者の方の支援に携わっていきたいです。

### 「端午の節句」

五月五日の端午の節句は、中国の行事が渡来したもので、古くは邪気を祓う為に菖蒲を軒に吊るすだけだったそうです。

平安時代に入り、五月五日、六日の二日間にわたって天皇の前で弓と競馬が行われるようになったこと、菖蒲が尚武（武術や軍事を重んじること）に通じるとして武者人形が飾られるようになり、それが五月人形と呼ばれるようになったそうです。



### 急傾斜地崩壊対策事業完了

富士学園ではこれまで、豪雨の度に山の急斜面が崩落する心配をしてきました。実際昨年七月にも土砂崩れがあり、行事を中止せざるを得ないなど影響を受けています。



このため国・県の急傾斜地崩壊対策事業の指定を受けておりました。が、本年三月、安心できる対策工事を写真のとおり完了致しました。

### 皆様ありがとうございました (三・四月分)

#### ◎法人へ

- 小松 倫也様より 寄付
- 藤永 正弘様より 寄付
- 栗林 恵一様より 寄付
- 川崎 俊朗様より 寄付

#### ◎富士学園へ

- 野田明利様より ミカン多量寄贈 寄付
- 松尾 清子様より 寄付

#### ◎めぐみ園へ

- 山代ガス株式会社より 善意銀行を通して寄付
- 戸上電機労働組合様より 雑巾を多数寄贈

- 六座町ふれあいサロン 飛梅会様より 雑巾を多数寄贈



岡本保子様より 絵画を寄贈  
タイトル「納屋 (かくれんぼ)」

### 何でもコーナー

#### めぐみ園 日中活動班(女性数名)



ぽかぽか 日和の中、めぐみ園運動場にて桜の木をバツクに!! 活動は、ウオーキングなど楽しんでいきます。

### あとがき

新年度がスタート致しました。充実した一年を過ごしましょう!!

